

第69回卒業証書授与式

2月28日



卒業生入場



卒業証書授与



学校長式辞

多くのご来賓や保護者のご臨席の下、第69回卒業証書授与式が挙行されました。マスク・手洗いの励行、換気など新型コロナウイルス対策を行った中で、厳粛な雰囲気で行われました。学校長及び来賓式辞では、これから社会人になっていく卒業生に対して、激励の言葉が贈られました。本校卒業生が、これから大いに活躍してくれることを願っています。



送辞



答辞



卒業生へのメッセージボード



本来ならば、2月29日(土)に足助地区のひな祭りで演奏予定だった吹奏楽部ですが、参加中止となったため、2月28日(金)に校内で、卒業記念の演奏会を開催しました。多くの生徒、先生方、保護者の方に見ていただきました。

今年度も本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございました。この歴史ある「小さくても大きな」足助高校は、少人数の良さを活かし、地域に根差したさらに素晴らしい学校となるべく成長してきます。

さて、現在、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、臨時休校となっています。今後の推移によっては日程が変更されるかもしれません。詳細は学校ホームページや学校発信メールを参考に確認してください。

現在のところ、以下のような日程となっています。

- 3月23日(金) 合格者登校日
- 4月 3日(金) 入学式準備、離任式
- 4月 6日(月) 入学式、入寮式
- 4月 7日(火) 1学期始業式

個人写真撮影や教科書販売など、日程が大きく変わっています。今後の連絡に細心の注意を払ってください。



愛知県立足助高等学校

豊田市岩神町川原5

電話

0565-62-1661

ホームページ

<http://asuke-haichi-c.ed.jp>

愛知県立足助高等学校

足助高校通信

学校長より

令和元年度も、いよいよ締め括りを迎えるようになっていますが、3月2日(月)から新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校が臨時休業となり、外出ができない不自由な生活を送らざるをえない状況の中、終業式を迎えることになってしまいました。3月に予定されていた「南山大学の留学生との国際交流事業」・「中馬のひな祭り吹奏楽演奏会」・「足助足祭り」も中止になってしまい、ボランティア生徒のみなさんと共に楽しみにしていたのですが、非常に残念です。一方で皆さんは、臨時休業中にしっかりと家庭学習に取り組み、健康に留意し、規則正しい生活を送ることができましたか。

さて、この1年間で自分がどれくらい成長したか、自分自身をしっかりと振り返ってみてください。振り返ってみると、昨年5月1日に元号が「平成」から「令和」に変わる中、豊田市においては豊田スタジアムを会場として2019年ラグビー・ワールドカップが盛大に開催されました。日本代表チームの大活躍に感動し元気をもらい大会が大成功に終わることができ、国際都市として豊田市のいっそうの発展が期待できそうです。さらには、2027年にリニア中央新幹線が開通予定であり、関連して豊田市の交通網の発展も期待されています。皆さんを待ち受ける社会は、かつてないスピードで変化しています。日本の経済を支えてきた、ものづくりやサービスなども産業構造が変化し、これまでであった事業が縮小したり、なくなったりし、また、新たな事業が大きく成長するなど、社会の仕組みが変わりつつあります。このような変化の大きい状況の中、大切なことは、節目・節目にしっかりと自分を振り返ることだと思います。

学年末の『節目』に当たって、「竹の節」について述べます。竹には節があります。竹は、大雪や強風にあっても節が伸び縮みしながら全体が大きくなることで衝撃を緩和します。節があるからこそ、簡単には折れません。竹は、竹の子の段階から少しずつその成長の過程で「節」を作って伸びていきます。つまり、「竹は節を作って確かに成長する」のです。人生にもいろいろな節目があります。学年末のような一年の節目もあれば、入学や卒業、進級や進学、就職や結婚など人生の節目もあります。また、喜びや希望に満ちた節目もあれば辛い悲しい節目もあると思います。そんな中で、人生において「ぶつかる壁」、すなわち苦労、失敗や困難の経験が自分自身の人生の節となり、竹のように「雪の重みに耐える強い心」、「強風に負けない柔軟な心」、「次の成長へと向かう挑戦する心」が身につくことと思います。たくさんの「ぶつかる壁」を経験しながら節の多い強い人間に成長していきましょう。皆さんも一年の初め、学期の初め、年度の初め、たくさんの節目を今までも経験し、これからは経験していくことと思います。その節目・節目にしっかりと自分を見つめ、新しいスタートを切れる自分でいてください。

本校は『節目』として、今年創立70周年を迎えます。これは、足助高校の築いてきた歴史と伝統を70年続けられたという素晴らしい事実です。これは学校だけでなく、同窓会の方々をはじめ、PTAの方々、地域の皆様方など、多くのサポーターによって支えられての偉業です。長きにわたって多くの人たちが集い学んできた、この歴史ある「小さくても大きな」足助高校を、さらに素晴らしい学校にしていくために、皆さんも力を貸してください。さあ、2年生の皆さん、半年後には就職試験が始まります。「進路実現」という名の船はすでに岸壁を離れました。全員、船にちゃんと乗り込んでいますか。1年生の皆さん、4月から高校生活の新しいページを開く準備はできていますか。この1年で自分が成し遂げたことを自信にして、自分の課題を解決しながら、「進路実現船」への乗船に向けて力を蓄えていきましょう。

(校長 阿部卓巳)

観光ビジネス類型のあゆみ

本年度より、本格的に始動した「観光ビジネス類型」です。一年間の主だった活動内容を、授業を受けた生徒の感想と併せてご覧ください。

2019年4月24日 開始式



- ・講師の方がたくさん見えて緊張しましたが、いよいよ始まる、という期待感もありました。
- ・本当に、秋の香嵐渓以外は本当にお客様がいらっしゃらないのだなと感じました。

2019年4月24日

観光協会長さんによる足助観光



2019年6月2日 ジビエを学ぶ（いのちの授業）



- ・地産地消や地元の商品の大切さを学び、そこでしかできない体験があると感じました。
- ・高校生がジビエ商品を考えてSNSなどで宣伝できないだろうかと思いました。

調査・探求活動



授業風景



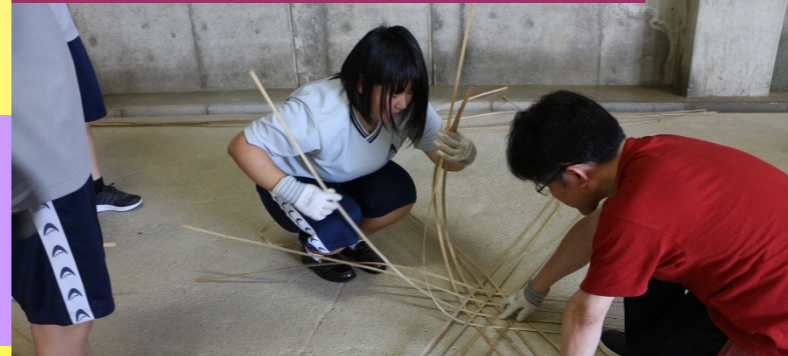
プレゼンテーション

2019年9月4日 豊田青年会議所の方と「WE LOVE さんそん！」を考える



- ・山村に住んでいる良さを再確認できました。
- ・ブレインストーミングで意見を出し合いました。

2019年7月17日 たんころりん作製



- ・竹の編み方が難しく苦戦しました。
- ・私たちが作ったものを多くの方に見てほしいです。

2019年7月4日 セントレア実地研修



- ・接客業に就きたい気持ちがより強くなりました。
- ・空港職員の方の細かい気配りが見受けられました。

2019年9月25日

観光庁国際観光部長高科淳様講演



- ・日本全体から見た「足助」や、日本の観光業全体に足りないものを考えさせられました。

2019年10月23日

第2回まちやどスクール参加



- ・大人の方々と意見交換ができてよかったです。
- ・思った以上にお金がかかることに驚きました。

2020年1月22日 名鉄トヨタホテル実習



- ・第一印象はとても大切だと学びました。
- ・感謝の気持ちを持って仕事をしたいです。

2020年2月5日

第3回まちやどスクール参加



- ・前回よりも積極的に意見を出せました。
- ・ニーズの把握がとても大切だと学びました。